

# 共立女子第二中学校

2026年度

## 入学試験問題（2回AM）

### 【 国 語 】

試験時間 50 分

### 【 注 意 】

- 1 試験開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
- 2 問題は一〜三で、全部で11ページです。試験中によごれや不足しているページに気づいた場合は、手をあげて監督かんとくの先生を呼んでください。
- 3 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出してください。

一、次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。(本文には一部改めたところがあります)

もし朝、家を出るとき家族に「今日、雨が降るよ」と言われたら、あなたはそれを情報交換だと思えますか。みなさんは一瞬にして、「傘を持って行きなさい」という意味だと理解しますよね。じゃ、なぜ直接「傘を持って行きなさい」と命令しないのでしょうか。命令されて喜んでそれに従う人はあまりいません。言いたいことを聞いてもらうには、**A** 耳を貸そうという気にさせるには、必要な情報だけを言っても、実は効果が薄く、望んだ結果(傘を持って行く)を引き起こすことができません。

会話のほとんどの部分が、伝えたい情報ではなく「思考」への効果に関わるのは、愛の告白でも同じです。相手のことが好きだと初めて知らせる場合、「好き」と言うだけでいいのでしょうか。それで用が足りるのは、すでにお互い(たが)がその感情を共有できている場合でしょう。初めて伝える相手には、その気持ちがどれほど強いかわかってもらうために、相手の好きな場所や料理を調べて、デートコースを考えるでしょう。<sup>①</sup> 伝えるための表現の選びかたにも工夫を凝らすはずです。プレゼントを渡すために、渡す場所やシチュエーションを考え、ラッピングにも気を配ります。告白も、デートも、プレゼントも、中身だけでなく、その順番や演出のしかたで全く効果が違うからです。

<sup>②</sup> 会話もそうです。中身(ひび)情報が伝わるのが大事なら、それだけを言うほうが誤解も少なそうです。**B**、実はそれでは相手の心に響かず、聞く耳さえ持ってもらえない、耳も心も塞いでしまう可能性すらあります。おこづかいをもらうために、お母さんか誰かに向かって「カネちょうだい!」とだけ叫んでも、せいぜい「私もほしいわ!」くらいの反応しか返ってこないでしょう。しかし、小学生にして言語のプロであるすべての日本人は、最近の話題のゲームがどんなに面白い(おももしろ)か、それが友達との友情にとつていかに大切か語った後で、自分も家にあつたらいかに明るい未来が待っているかを語り、そのためには資金が必要だという核心は、余分な付け足しのようにこつそり(こ)といひ添える(そ)でしょう。(中略)

このようにみると、日常会話のほとんどの部分は **③** ではなく、**④** が大半を占めている、とわかるはず。日常会話

のほとんどの部分で、私たちは相手の「思考」に働きかけています。

情報伝達とは、素敵すてきなお店を教えてもらったり、台風の到達時間とうたつや交通渋滞じゅうたいといった有用な未知の情報を伝達したりする行為こういです。あいさつとしての「おはよう」は、「今は時間が早い」という情報伝達ではなく、自分が相手の存在を認めることを伝え、相手にもこちらの存在を認めるよう促うながす働きがあります。これは、誰かの意見に反対や変更へんこうを求めるとき、尊重をすることで、こちらにも耳を傾けてもらう余地を作り出すことと同じでしょう。そこでは、相手の心の内を慮おもんばかることで、自分の思いを実現しようとしています。

ふだん、私たちは言葉がどんな効果をおよぼすかを自覚せずに言語行為をしています。きちんと理解していなくても、経験からなんとなくわかっていきます。このことから見ていきましよう。もし自分しかいない部屋に、誰かが来て、無言で席に着いたら、みなさんはどう感じますか。かなり離れていたとしても、<sup>⑤</sup>「なんだか居心地いこちが悪くなるでしょう。あいさつは、「私はあなたの存在を受け入れる」という意思表示の働きを担になっています。

**D**、あいさつは「おはよう」（「早いですね」や「いい朝ですね」ではなくとも、「髪型かみがた変えたんですね！」でもいいのは、そういった発言が「私はあなたがいることを認知にんちしました」という客観的な知覚に加えて、友好や好意を示すからです。それは、相手の機嫌きげんを良くしようとする働きかけです。

このように、日常会話は情報伝達よりも〈情動への効果〉に重点が置かれます。それは人間社会とは、日常が人間どうしのやりとりで構成され、人間の住まう世界とは単に物理的な世界だけではなく、<sup>⑥</sup>そこには心理的な世界が果てしなく広がっているからです。

それは、<sup>⑦</sup>真夏の白い雲をただでワクワクする感覚や、<sup>⑧</sup>「リンゴを思い浮かべないでください」と聞くだけでリンゴのイメージがいやおうなく湧わき起おこる感覚と同じです。この心理的な働きこそ、情動主義が明らかにした言語の「呪術じゆじゆつ」です。なぜなら、まるで魔法まほうのように、影響えいぎょうを及およぼしたい誰かの心や行動に、直接に物理的に働きかけなくても、離れたところから言葉で直接の影響を引

き起こし、現実に作用することができるからです。この働きを濃縮のうしゆくしているのが、日本なら俳句のようなポエムです。

この点で、あいさつにもポエムと同じ効果があり、だからこそ上機嫌じょうきげんにあいさつすることが日常会話では不可欠なのです。

日本の有名な詩人に松尾芭蕉がいます。物語のように言葉をたくさん使わなくとも、彼の有名な俳句「古池や蛙飛び込む水の音」から、木々に囲まれた静かな池にカエルが飛び込んで音が一面に広がるイメージを思い浮かべることができます。ア

その効果は、池や蛙についての情報をわかりやすく伝えることではありません。イ その効果は、驚くほど静かな自然と、そ

の静かさを破りながらも引き立てるたった一度の水の音が対比されること、そしてそれによって静まりかえった自然が実は躍動感やくどうかんに溢あふれていることに気づかせてくれることです。ウ しかも、自然の計り知れない広がりとその中にいる自分の小ささ、その自然

との一体感も、同時に一瞬にして感じさせる働きがあります。エ

それを一挙に悟らせるように心に劇的な変化をもたらすことこそ、ポエムの効果です。

〔小野純一『僕たちは言葉について何も知らない 孤独、誤解、もどかしさの言語学』による〕

問一 A D にあてはまる語として最も適するものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は一度しか使えません)

ア まず イ しかし ウ つまり エ だから

問二 ①「伝えるための表現の選びかたにも工夫を凝らすはずだ」とありますが、反対に、伝えたい情報だけでいいのはどのような場合ですか。本文中より二十一字で探し、はじめと終わりの五字をぬき出しなさい。

問三 ②「会話もそうです」とはどういうことですか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 情報が伝わるのが大事なら、それだけと言うほうが誤解が少なくいいということ。

イ 相手に何かを伝えるためには、必要な情報をただ言うだけでは効果が薄いということ。

ウ プレゼントは渡す場所や演出を考え、ラッピングにも気を配った方がいいということ。

エ 愛の告白も会話も情報交換であるから、言葉を正しく使うことが重要だということ。

問四 ③・④ にあてはまる語句の組み合わせとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア ③ 情報伝達 ④ 聞き手の感情に配慮はいりよした言葉

イ ③ 情報伝達 ④ 効率よく伝えるための言葉

ウ ③ 思考への働きかけ ④ 聞き手の感情に配慮した言葉

エ ③ 思考への働きかけ ④ 効率よく伝えるための言葉

問五 ⑤ 「なんだか居心地が悪くなるでしょう」とありますが、その理由を本文中の語句を用いて三十字以内で説明しなさい。

問六 ⑥ 「物理的な世界だけではなく、そこには心理的な世界が果てしなく広がっている」とありますが、これまでの具体例の中で使われた言葉のうち、「物理的な世界の言葉」として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 「いい朝ですね」

イ 「今日、雨が降るよ」

ウ 「傘を持っていきなさい」

エ 「髪型変えたんですね！」

問七 ⑦ 「真夏の白い雲を見ただけでワクワクする感覚」、⑧ 「『リンゴを思い浮かべないでください』と聞くだけでリンゴのイメージがいやおうなく湧き起こる感覚」とありますが、この二つの感覚に共通している点は何ですか。本文中の語句を用いて四十字以内で説明しなさい。

問八 次の一文が本文中よりぬけています。ア ㄱ エ のどこにもどせばよいですか。記号で答えなさい。

誰もこんなことはふだん考えもしないでしょう。

問九 ⑨ 「躍動感」とありますが、本文中での意味として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 生き生きとした様子 イ 感動をもたらし様子

ウ 味わい深い様子 エ 常に移り行く様子

問十 本文の内容としてあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 言葉が持つ働きと俳句の性質が似ているということを有名な俳句を用いて説明している。  
イ 日常生活にありそうな会話を例として使用することで言葉の働きを伝えようとしている。  
ウ 時に相手を傷つけたり攻撃したりすることもある言葉の性質を「呪術」にたとえている。  
エ おこづかいの例は日本の小学生がすでに会話の本質を理解できていることを示している。

二、次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。(本文には一部改めたところがあります)

「おれ(道橋くん)」は「雅人」と仲が良く、自宅にもよく遊びにいつている。そこで出会った「雅人」の姉である「詩織さん」は中学時代、学校に通えていなかった。彼女は高校生になったものの、最近また学校へ通えていない。そのことを知った「おれ」が教室にいる場面である。」

期末テストの結果は予想よりだいぶよかったけど、おれの心はそれでも晴れなかった。後悔とあせりが薄まることはなく、詩織さんのためになにができるのか、授業中もずっとそればかり考えていた。

カッコつけんなよお、と雅人は言った。そう、たしかにあいつの言うとおりで。おれはいつだって大人ぶって格好をつけて、詩織さんに好かれようとするばかりで、昨日だって傷ついている詩織さんに、なにもしてあげることができなかった。

この際、どんなに不格好でもいい。詩織さんのために、おれにできることがあるなら、なんだって……。

「みつ……道橋くん、だいじょうぶ？ なんかすごくつらそうだけど……」

② した女子の声で我にかえると、正面で給食当番のエプロンをつけた桃が、心配そうにおれの顔をのぞきこんでいた。悩むのに集中しすぎて、給食の配膳の列にならんでいるのもなかば無意識だった。

「ああ、いや、なんでもない」

おれが③とはぐらかすと、桃はまだ気がかりな顔で、おれのトレイにコッペパンを置いた。そのパンの色が普段より濃いことに気がついて、おれは④とつぶやいた。

「黒糖パン、きょうだったのか」

「えっ、なに？」

⑤とする桃に、「いや」とこたえようと、おれは残りの給食を受け取って、自分の席にもどった。頭の中には、給食の黒糖パンをおいしそうに食べながら本を読む詩織さんの姿が思い浮かんでいた。

まわりが給食を食べはじめても、おれはまだ給食の載ったトレイをじっと見つめていた。きょうの給食メニューは、黒糖パンにオムレツと野菜スープとりんご。バスケット部の練習は激しいから、パンをぬいたら練習中に空腹で倒れるかもしれないな、と考えた。そもそも、いくらなんだっていいと言ったって、それはほんとうに意味のあることなのか、とも。

おれが迷っていると、給食の配膳台のほうで声が聞こえた。

「おっ、あったあった。ねえ、この黒糖パン、ほかにほしい人いる？」

声のしたほうを向くと、桃と仲のいい大食いの飯島梢が、配膳台の前で黒糖パンを掲げていた。欠席者の分が余っていたのだ。

担任の辻井先生が飯島を注意した。

「給食の持ち帰りは禁止だよ。二個も食べられるの？」

「余裕ですよ余裕。じゃあこれはあたしが……」

「待った」

考えるより先に声が出ていた。席を立ったおれに、まわりの視線が集中した。羞恥心で体が熱くなったけど、もう迷ってもしかたがない。⑦おれは決然と飯島のところに向かった。

中学生にもなって給食の取りあいなんて、おれには恥ずかしくて無理だ。そう思っていた。だけどいまは、格好をつけるより大事なことがある。

飯島がおれの顔をじろじろ見て言った。

「道橋が給食の余りをほしがるなんてめずらしいね。黒糖パン、好きなの？」

「そういうわけじゃない」

「だけど、負けるわけにはいかない。おれの返事に飯島が不思議そうな顔をした。

「まあいいや。なんだかよくわかんないけど、それじゃあいざ尋常に」

「じゃんけん、とおれはいきおいよく右手を振りかぶった。

部活後に雅人の家に寄って、詩織さんの部屋を訪ねた。ノックのあとでドアを開けると、詩織さんは予想どおり机で読書中だった。予想していたとおりの無表情で。

部屋にやってきたのがおれだとわかると、詩織さんは驚いた顔でこっちを見た。そしておれをにらむようにして尋ねてくる。

「どうしたの。もしかして、雅人になにか頼まれた？」

「違います。詩織さんにわたしたいものがあって」

詩織さんがまゆをひそめた。おれは詩織さんの部屋に足を踏みいれて、カバンから給食の黒糖パンを取り出した。その黒糖パンを押しつけるように差し出すと、詩織さんは戸惑った様子でそれを受け取った。

「これ、なんで……」

「いえ、前に詩織さんが好きだと言ったのを思いだして、しばらく食べてないだろうから、喜んでもらえるんじゃないかって、こっさり……その、昨日会ったとき、中学にもどりたいとも話してましたし、だからせめて好きだった給食の味だけでも、というか……」

どう説明するかは考えてきたはずなのに、話しているうちにしどろもどろになってしまった。やっぱり、相手が雅人ならまだしも、好物で元気づけようなんて、単純な発想すぎて失礼だっただろうか。

詩織さんの反応が不安で、おれがその顔をまっすぐ見られないでいると、詩織さんが心配そうに尋ねてきた。



問二 ②・③・④・⑤にあてはまる語として最も適するものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ぽつり                      イ あたふた                      ウ きよとん                      エ おどおど

問三 ⑥「迷っている」とありますが、どんなことに迷っているのですか。本文中の語句を用いて五十字以内で説明しなさい。

問四 ⑦「おれはく向かった」とありますが、何のためですか。本文中の語句を用いて十五字以内で説明しなさい。

問五 ⑧「まゆをひそめた」とありますが、この時の「詩織さん」の心情の説明として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 道橋くんが何のために部屋に来たのかが思い当たらず不審ふしんに思っている。

イ 読書中に、道橋くんが急に部屋に入ってきたことに恐怖きょうふを感じている。

ウ 道橋くんが弟の雅人に頼まれて持参したものに大きな期待を寄せている。

エ 弟の友人であり、いつも助けてくれる道橋くんへ好奇心こうきしんを持っている。

問六 ⑨にあてはまる語句として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 勝って、自分のパンを食べずに

イ 勝って、飯島のパンをうばって

ウ 負けて、自分のパンを食べずに

エ 負けて、自分のパンを食べて

問七 ⑩「真つ赤になつて」とありますが、この時の「おれ」の気持ちを表した語を本文中より五字でぬき出しなさい。

問八 ⑪「笑い泣きにくこぼれすぎだ」とありますが、この時の「詩織さん」の気持ちを説明したものとあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 道橋くんのお腹がタイミングよく大きく鳴ったことで、面白さを感じている。

イ 好物の黒糖パンを持ってきてくれたことについて、ありがたく思っている。

ウ 自分のことを大切に思ってくれる人がいることに、大きな驚きを感じている。

エ お腹の音で道橋くんのお腹を見抜きみぬ、友達になることの難しさを感じている。

問九 本文の内容に合うものとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

- ア 好物で気を引こうとする道橋くんの行動は、とても浅はかなこととして描かれている。
- イ 最後に詩織さんの笑顔を描き、気持ちを伝えるには格好つけなくていいと伝えている。
- ウ 教室の日常風景を描くことで、毎日行われる給食の取り合いの激しさを描いている。
- エ 詩織さんと雅人の家族愛あふれる姿から、不幸も乗り越えられることを伝えている。

三、次の各問いに答えなさい。

問一 次の空らんに入れた四字熟語を完成させなさい。

- ① 刻金      ② 捨入      ③ 位体      ④ 束文

問二 次の熟語が対義語の関係になるように、にあてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 善意    ↑↓    意      ② 縦断    ↑↓    断
- ③ 温暖    ↑↓    冷      ④ 禁止    ↑↓    可

問三 次の文の部分がかかっているところを、各文の——線部より一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① のどが 乾いたので 水を たくさん 飲む。
- ② たいへん 難しい 試験の 問題を 解く。
- ③ 二年前に 授業で 読んだ 物語が 好きだ。
- ④ たくさんの あたたかい 言葉を 友だちから もらった。

問四 次の文の——線部の漢字をひらがなに直しなさい。

- ① 至急連絡してください。                      ② 飛行機を操縦する。                      ③ 衣服が縮む。                      ④ 晩秋の静けさを楽しむ。

問五 次の文の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなをひらがなで書きなさい。

- ① 暗い夜道はキケンだ。                      ② 税金をオサメル。                      ③ 日本国ケンポウを学ぶ。                      ④ 時計はセイミツな機械だ。